

NORIAKI
KASAI

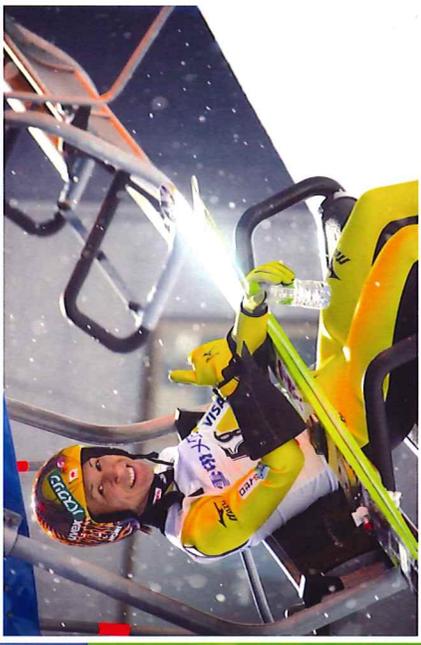


スキージャンパー

葛西紀明

トークライブイベント「やり抜くカ」

カミカゼ・レジェンドと呼ばれる葛西氏が、苦難を超える秘訣を語る。



入場無料

※事前配布チケットもしくは、
当日入場整理券をご用意下さい。

8月18日(土)
午後6時00分

草加アコスホール

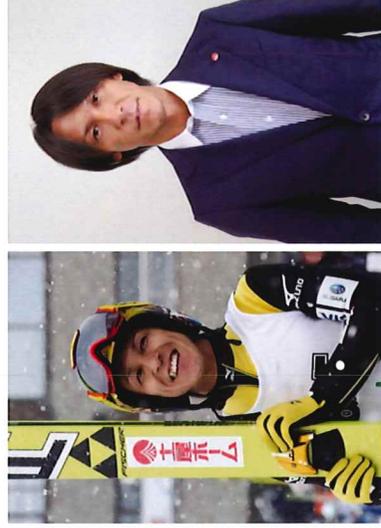
主催 そつか葛西紀明応援団

後援団体 草加商工会議所・公益財団法人 草加市体育協会・草加市スキー連盟
草加市工業会連絡協議会・草加市商店連合事業協同組合

- ご入場には事前配布チケット、または当日入場整理券のどちらかが必要です。
- 草加駅東口のカーソン広場（ヨーク堂正面）にて開催日の午後3時より当日入場整理券を配布します。
- 安全を確保するため会場定員に制限があり、開催当日は混雑状況により入場できない場合がございます。

葛西 紀明 プロフィール

- ・株式会社土屋ホーム スキー部 選手兼監督
- ・スキージャンプ選手
- ・1972年6月6日北海道下川町生まれ
東海大学付属第四高等学校（現東海大学付属
札幌高等学校）卒業後、地崎工業、マイカル
を経て2001年11月土屋ホーム入社
- ・身長：176cm 体重：59.5kg 血液型：AB型
- ・趣味：ゴルフ、ワイン



略歴：

小学3年生でスキーを始める。

中学3年生の宮様大会テストジャンパーで、優勝者の記録を上回り話題になる。

1988年12月、16歳でワールドカップ（札幌大会）初出場

1992年、19歳でオリンピック初出場（アルペールビル）以来リレハンメル、長野、ソルトレイク、トリノ、バンクーバー、ソチ、平昌と8大会連続で出場。リレハンメルで団体銀、ソチでラージヒル個人銀、団体銅の計3つのメダルを獲得。

2003年イタリアのヴァル・ディ・フィエンメで開催されたノルディック世界選手権大会では団体銀、ノーマル・ラージとも銅の3つのメダルを獲得。

2007年世界選手権札幌大会の団体戦で銅メダル獲得。

2009年世界選手権団体戦でも2大会連続の銅メダルを獲得。この年、監督に就任しプレイングマネージャーに。

2014年1月11日、バートミッテンドルフ（オーストリア）大会で10年ぶりとなるW杯優勝。最年長優勝記録を41歳219日に更新。

同年2月のソチオリンピックでは個人ラージヒル銀、団体銅の2つのメダルを獲得。

同年3月、ワールドカップ最年長優勝、冬季五輪7大会連続最多出場、冬季五輪スキージャンプ最年長メダリストの3つがギネス世界記録に認定される。

同年11月29日フィンランドのルカで開催されたワールドカップ個人第3戦で自らが持つ最年長優勝記録を42歳5ヶ月に更新、通算優勝回数を17回（日本人男子最多）とした。

2016年1月30日、第一子となる長女が誕生。その翌日にはFISワールドカップ札幌大会で3位に入り、ワールドカップ最年長表彰台記録を43歳240日に更新。さらに同日「ワールドカップ最多出場」「ノルディックスキー世界選手権最多出場」の2つが新たにギネス世界記録に認定され、計5つのギネス世界記録ホルダーとなった。

2016年3月17日、プラニツァ（スロベニア）で開催されたFISスキージャンプワールドカップで前人未到の500試合出場を達成。

2017年3月26日、プラニツァ（スロベニア）で行われたワールドカップ個人最終戦で3位に入り、3月19日の2位に続いて2016-2017シーズン2度目の表彰台に上がり、自らが持つW杯最年長表彰台記録を44歳9か月に更新した。

書籍：「40歳を過ぎて最高の成果を出せる「疲れない体」と「折れない心」のつくり方」（東洋経済新報社）

「夢は、努力でかなえる。」（実業之日本社）、「家族で獲った銀メダル」（光文社）

講演：「夢は、努力でかなえる。」（タイトル一例）など多数